

経営比較分析表（令和5年度決算）

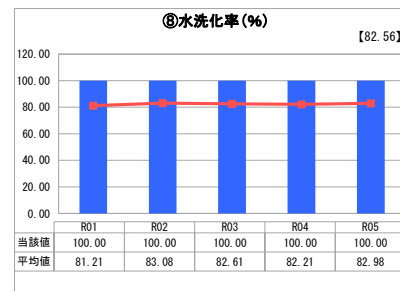
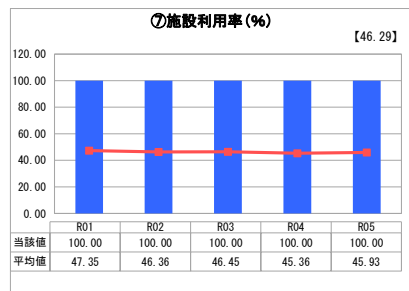
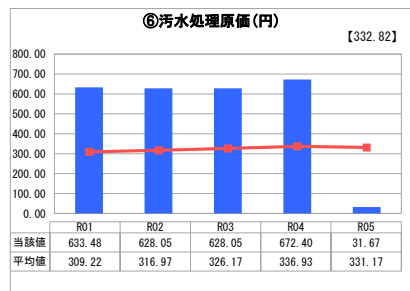
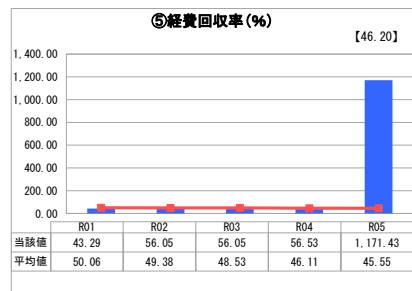
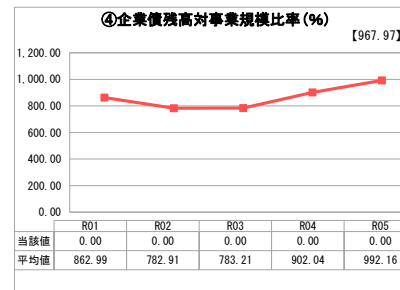
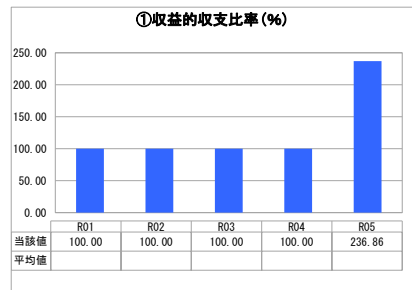
山形県 鮭川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	0.75	100.00	3,720

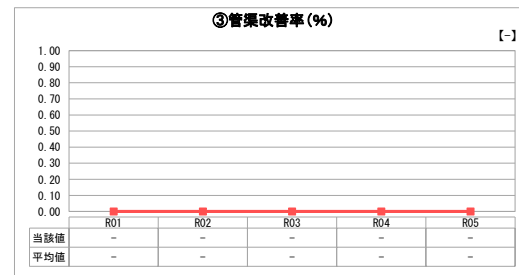
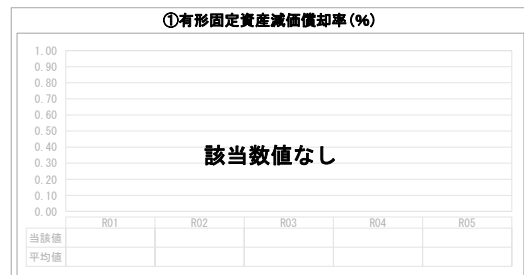
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
3,767	122.14	30.84
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
28	0.01	2,800.00

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【】	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営については、専任の職員を置かず人件費を抑制するなどしながら、農業集落排水と一体的に経営を行うことで経費を抑えている。
今年度は営業費用の一部を農業集落排水事業にて補っているため、収益的収支比率・経費回収率・汚水処理原価については大きく変化している。

2. 老朽化の状況について

平成7年度の供用開始から20年以上が経過しているが、定期的に点検を行うことによって大きな故障を防止している。
今後更新時期がくればダウンサイジングやより最適な処理方法の検討が必要である。

全体総括

農業集落排水と同様に収支計画からシミュレーションしたうえで適切な料金改定を行い、経費回収率を上げることで経営の安定化に繋げていく。
また、定期的な点検により、適正な維持管理に努めながら、将来ダウンサイジングやより最適な処理方法を検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。